

令和6年度 授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）

| | 課題分析 | 授業改善策 | 改善状況 |
|----|--|---|------|
| 国語 | 3学年ともに多くの生徒が授業の準備をきちんと済ませたうえで主体的に学習に取り組むことができている。導入時にスライドを用いて好奇心を高める工夫や、毎時間主体的に考えるための話し合いを取り入れることが効果的であったことが考えられる。その一方で、日常生活との結び付けが十分に行えていない現状が課題として挙げられる。 | 文学的文章や古典作品と日常生活との結び付けが不十分であることが考えられる。そのため、日常生活に留まらず、他教科での学習との結び付けを意識させる工夫として、教科横断的な考え方を取り入れていきたい。また、授業の中で他教科の視点を踏まえたいうで解決する課題を設定したり、どのような場面で活用できたのかを想起させる機会を設けたりする。 | |
| 社会 | <p>多数の生徒が授業に対して意欲的であった。その理由として、①身近な題材を使った導入の工夫・②動画などの視聴覚教材の活用・③スライドやパワーポイントを用いた授業であることが考えられる。</p> <p>一方で、学習内容を生徒同士が伝え合い、学んだことを深めていくために、意見交換をする時間と場面の確保、生徒に配布したタブレットの効果的な使用方法の検討などが課題である。</p> | <p>従来話し合い活動や、自分の考えをまとめる時間と場面の機会を大切にしていこう。またその際、意見交流しやすい机の配置等も検討していく。</p> <p>また、一方でタブレットの活用も進めていくために、意見交流を活性化するためのGoogleアプリが数種類あるため、授業内の場面ごとに、教育効果がより高いアプリを選択し、更に意欲を高めていく。</p> | |
| 数学 | その1時間で、何を学ぶかを授業の始めにつかみ、多くの生徒が授業に臨んでいる。一方で、習った知識や技能を普段の生活に活用したり、日常生活との関連を見いだし有用性を感じることに課題がある。 | 授業の導入やまとめで学習内容と日常生活との関わりについて伝え、具体例を紹介する。そして、学習内容が実生活に結び付いていることを感じさせ、数学の意義を生徒自身が見いだせるよう授業の組み立てを工夫する。 | |
| 理科 | 多くの生徒が授業の内容について興味・関心をもち、意欲的に学習することができている。一方で、学習内容と日常生活との関連性を見いだし、学習を主体的に深めていくことに課題がある。 | 導入やまとめで、学習内容が身のまわりにもどのように活用されているかを、具体例を挙げて説明する。また、生徒が自分なりに仮説を立て、他者と意見交換するなどして主体的に考えを深めていけるように、授業の展開や説明のしかた、時間配分を工夫する。 | |
| 音楽 | ・毎授業で「本時の目標」「本時のゴール」を明記し、学習内容を理解させてから取り寄せたことによって多くの生徒が意欲的に学習することができている。一方で授業中の挙手発言や授業内容と生活の結び付きについては課題が見られた。 | <p>①授業内で挙手・発言をする場面を増やし、積極的発言を促すようにする。</p> <p>②全体共有、グループなど学習形態の工夫をして、発言しやすい雰囲気を作る。</p> <p>③授業内容と生活の結びつきの関連ができそうな単元についてはまとめの部分などで取り上げていく。</p> | |

| | | | |
|------|--|--|--|
| 美術 | <p>多くの生徒が、素直に、意欲的に制作に取り組んでいる様子が見られた。ただ、分からないことを自ら進んで解決しようとする姿勢や、表現として発展させようとする姿勢はまだ弱いと感じる。</p> | <p>ただ制作するだけにとどまらず、授業で説明のあった技術的な知識を生かし、表現につながられるような指導を心がける。そのためには、個別指導での的確なアドバイスと、生徒の参考作品を効果的に紹介できるよう工夫する。</p> | |
| 保健体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を守り、授業に意欲的に取り組む生徒がほとんどである。 ・授業内容を実生活に生かしていないという課題が見られた。 | <p>①実生活に生かせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場を増やし「自ら考えた」経験を増やす。 ・実生活と結びつけたワードを多用し、他教科との関連を図る。 <p>②提示する資料の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字やスライドで表示される高さも含めて再検討する。 ・学習カードの課題提示を授業内容と関連付けたものにしていく。 | |
| 技術家庭 | <p>〈技術〉</p> <p>多くの生徒が授業に対して積極的に参加し、規律を守って安全に活動をしていた。しかし、授業では、「積極的な発言」や「興味や関心を持ち、考える」ということについて実践する場面が少ない。</p> <p>〈家庭〉</p> <p>一人一人が意欲的に授業に取り組もうという姿が多く見られた。その一方で、集中力が継続しないこともある。また、ポイントの所をメモしたり、ノートのとまとめ方を工夫したりすることが課題である。</p> | <p>〈技術〉</p> <p>授業では丁寧に説明しようとして、説明の時間が長くなってしまった。もっと説明を簡潔にし、考える場面や発言できる場面を設けていきたい。そのために生徒用のタブレットを活用し、個人の意見を出せるような工夫を図りたい。</p> <p>〈家庭〉</p> <p>身近に感じてもらうため、実際に家庭で起こるシチュエーションを写真や動画を見せながら行うことで、生徒がイメージをもちやすくする。</p> | |
| 外国語 | <p>授業や家庭学習に意欲的な生徒が多くみられる。小テスト、スペリングコンテスト、音読、スピーキングなどにもよく取り組んでいる。ペアやグループでのコミュニケーション活動にも積極的である。</p> <p>一方、発話の際、即座に言いたいことを英語で表現することが困難な生徒が多くみられることが課題である。</p> | <p>言いたいことを即座に英語で表現できるように、多彩な具体例を提示して、即興的な対話を続ける活動を意識的に取り入れていく。ALTの力も借りて、テンポの良い対話を続ける喜びを体験させる。</p> <p>並行して、対話活動の直後に、正確な綴りと文法で、話した内容を書く活動を設け、書く力、話す力を相乗効果でさらに高めていく。</p> | |